



平成26年7月17日

厚生労働省「国産医療機器創出促進基盤整備等事業」に採択

岡山大学病院は、平成26年6月30日、厚生労働省「国産医療機器創出促進基盤整備等事業」に採択されました。本事業は、医療機器の研究開発を行う医療機関において、医療機器を開発する企業の人材を受け入れ、市場性を見据えた製品設計の方法などに関する資質を習得した人材を育成することで、国内外の医療ニーズを満たす医療機器の開発の推進を図ることを目的としており、本年度から5年間実施されます。

岡山大学病院は、医療機器を開発する企業ならびに医療機器開発新規参入企業からの人材を受け入れ、医療機器開発におけるプロフェッショナルの育成を行うとともに、実際の医療機器開発支援をモデルとした実践的教育を行い、社会が求める医療の発展に貢献していきます。

厚生労働省は、平成26年6月30日に「国産医療機器創出促進基盤整備等事業」の対象機関として、本院を含む11機関（大阪大学医学部附属病院、岡山大学病院、九州大学病院、国立大学法人大分大学、国立大学法人神戸大学医学部附属病院、国立大学法人信州大学医学部附属病院、国立大学法人東北大学 東北大学病院、国立大学法人浜松医科大学、東京女子医科大学、独立行政法人国立循環器病研究センター、国立大学法人鳥取大学医学部附属病院）を採択し、発表しました。本院の平成26年度の予算額は約640万円となっています。

本事業は、医療機関と医療機器開発企業の連携を推進し、医療ニーズを満たす医療機器の実用化促進を通じて医療の発展へ貢献することを目的としていますが、実際の医療現場に医療機器開発の人材が入り、医師等と意見を交わすなどして現場のニーズに沿った医療機器を開発するという試みはこれまでにない新しい取り組みで、今後革新的な医療機器が開発されることも期待されます。

本院はこれまでに、岡山県とともに推進するメディカルテクノバレー構想のもと、医療現場におけるニーズ・シーズと大学・企業等が持つ技術のマッチング、さらには新規企業の育成等を産官学一体となって推進してきました。また、中国・四国地区唯一の臨床研究中核病院として、日本発の革新的医療機器・医薬品を創出することを目的の一つとした体制を既に整備しており、医療機器・医薬品の研究開発に関連した人材育成も一つの重要なミッションとして取り組みを行っています。

本事業採択を受け、本院ではこれまでの活動をより一層強化するとともに、基礎（原理・機能・安全性等）から実践（市場分析・薬事戦略・開発・特許出願等）までをサポートするプログラムとして、「プロフェッショナル育成プログラム」及び「事業化促進プログラム」を実施し、社会が求める医療の発展に貢献していきます。

<お問い合わせ先>

岡山大学病院 新医療研究開発センター TEL：086-235-6504